

◎ 黒野城と 加藤貞泰公研究会



航空写真 岐阜市教育委員会提供

会報

甦る! 黒野城

梅雨の真ただ中、黒野城跡の堀は満々と水を湛え、これこそが本来のお城らしい姿となり風情があります。

当研究会は、4月に役員改選により郷孝夫が会長から顧問になり、新たに河口耕三が新会長に選任されました。

本号では、前号に引き続いて黒野城にまつわるお話や、当研究会の活動状況などをお伝えします。

2016.07 vol. 3



チャンネルCCNテレビ放送「人々の手で甦る黒野城」より

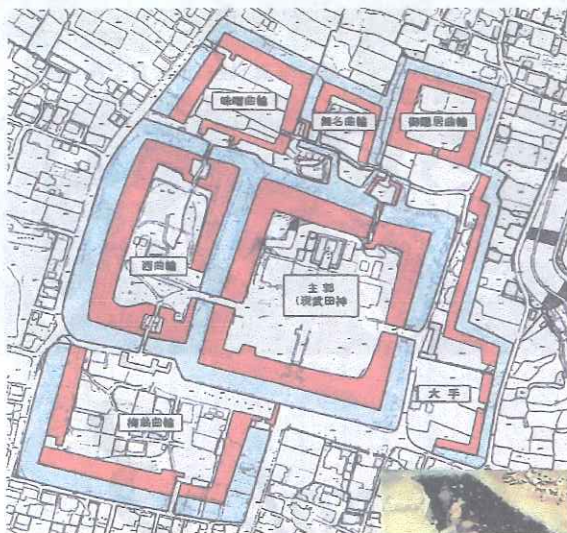
黒野城のルーツは甲斐国 武田氏館跡か？



武田氏館跡は別名「躑躅ヶ崎館（つつじがさきやかた）」と呼ばれ、永正16年（1519）に武田信虎（武田信玄の父）によって築造された守護館であり、武田家三代（信虎・信玄・勝頼）の領国経営の中心地として機能・発展しました。天正9年（1581）に武田勝頼による本拠移転で一時衰退しますが、翌年の武田氏滅亡により秀吉・家康らの家臣団の支配下となり、甲府城築城までの間、甲斐国統治の拠点は再度武田氏館跡に移りました。

同館跡は各家臣団の手により城内の各所が大規模に改修され、天正19年（1591）～天正20年（1592）の2年間に加藤光泰が入封した際にも改修されたと考えられています。その後光泰は文禄の役により朝鮮半島に出兵しましたが現地で死去し、後の領主浅野長政・幸長父子により甲府城築城が引き継がれました。生前に光泰は加藤図書に甲府城築城の様子が非常に気かりで手紙にしたためるほどでありました。その意思是浅野父子に立派に受け継がれ、甲府城は見事に完成したのです。

その後、嫡男の加藤貞泰が美濃国・黒野に入封して築かれた黒野城の縄張は、2012年に山梨県教育委員会が武田氏館跡と黒野城マップが非常によく似ているとの考察をされています。



史料・図・写真は「史跡 武田氏館跡の歴史と遺構」山梨県教育委員会発行より掲載（黒野城の縄張りに非常によく似ているのが判る）

黒野城・三の丸 搦め手土塁の竹林伐採作業

昨年9月に開催された「黒野探訪」に向けて当研究会では同8月に延べ3日間に渡り、所有者の許可を得て黒野城・三の丸 搦め手土塁上に生い茂る竹林の伐採作業を行ないました。また今年2月～6月にも継続して行ないました。現地は黒野城郭の北東端に位置し、現存する最大規模の横矢屏風折れ形状の土塁で非常に貴重な遺構であります。長年に亘って竹林と化していました。汗及び蜂や蚊と奮闘しながらチェーンソー・鉋などで伐採する大規模な作業でしたが、再びかつての築城時の土塁が姿を現わしました。黒野城主・加藤貞泰が慶長7年（1602）に、この付近に土塁と外堀を巡らせています（超勝寺資料より）。



小川市について

小川市とは、「小川のそばにある市場」のことです。小川市は古くから開かれていて、平安時代の説話集「日本霊異記」や「今昔物語集」の両方に記述が見られます。この小川市にまつわる昔話があって、キツネの化身である大女が市場に現れては商品の強奪を繰り返していたため、美濃の大女を懲らしめようと尾張国の腕力の強い小女がムチにより仕置きし、二度と市場に来られないようにしたという逸話です。

有識者の間では、かねてから小川市のあったとされる場所が岐阜市古市場とする説を有力視されてきましたが、地元ではさほど知られていません。しかし、平成24年に当会の前会長（現顧問）の郷孝夫が有識者の見解の他に地勢的推測等を交え、黒野城・外堀を兼ねる小川で現在の熊野神社（岐阜市古市場）付近と思われると結論づけ、その成果を小川市に関する研究論文として200冊を自費出版し、内外に配布しました。

今年3月、当研究会は地域の事業者などからの寄付金により熊野神社境内の南空き地に案内看板を設置し、お披露目開催とともに紙芝居「小川市の話・小女と大女の力競べ」も上演しました。



新設した「小川市跡と力女の力競べ」案内看板



熊野神社境内で小川市の紙芝居を上演

研究会の活動報告 (2015.11 ~ 2016.06)

主な定番事業

1. 研究活動・・・隔月毎の「研究会」開催、「郷家古文書調査」、外部団体との交流会など
2. 地域の市民対象活動・・・黒野小学校で「ふるさと黒野検定子ども版」の実施、「100問百答集」の発行、紙芝居「小川市」の制作・上演、黒野会館まつり出展、案内板の設置、三の丸・搦め手上塁の竹林伐採、美化活動、黒野探訪（委託）
3. その他・・・ホームページ・フェイスブックの更新、会報・マップ・リーフレット等の発行等

新しく始めた事業

1. 地域の市民対象活動・・・鎧(よろい)・兜(かぶと)手作り教室説明会



「小牧古城探索の会」ご一行案内



「100問百答集」の作成・配布



黒野会館まつり出展



関ヶ原古戦場史跡めぐり



鎧(よろい)・兜(かぶと)手作り教室の説明会



大洲史談会設置碑に説明版



黒野小ふるさと黒野検定表彰



私設「三の丸資料館」案内



黒野探訪コース草刈り



洞第2古墳草刈り

最近の主な活動行事



洞の国城寺にて全員集合



6月26日「黒野歴史探訪 洞の史跡めぐり」



洞第2古墳群

分類	活動名	年月	H27 (2015)		H28 (2016)						備考	
			11	12	1	2	3	4	5	6		
研究活動	1 研究会		○		○		○		○		○	2ヶ月毎・事業報告・研究発表 黒野会館
	2 調査・研究活動		○		○		○		○		○	個人・グループ研究などの成果を研究会で発表
	3 郷土古文書調査(目録作成)		○		○		○		○		○	御望郷家古文書・会場 黒野会館
	4 第3回関ヶ原古戦場めぐり						○		○			4月21日 中山道柏原宿他 10名参加
	5 外部団体との交流会					○	○		○		○	北方町文化財保護協会・村山住民・山田塾との交流
黒野小	1 ふるさと黒野検定子ども版	4・5・6年生対象に実施	○		○		○		○		○	年度末2月に表彰
	「100問百答集」の発行					○						1500部製本・上級生児童などに配布
普及	1 紙芝居制作 第3作「小川市」の企画・制作		○		○		○		○		○	3月6日案内板設置お披露目
	2 紙芝居上演 上演(3作) 第3作「小川市」上演						○		○		○	小川市案内板お披露目・交白寿会・古市場未来の会
案内	3 ヨロイ・カブト手作り教室説明会開催	新規										5月7日・6月25日 説明会開催 7組参加
	1 小牧古城探索の会・一行案内	委託				○						2月3日 26名案内
	2 大山中日文化センター案内	委託					○					3月2日 9名案内
	3 黒野まちづくり協議会・黒野探訪	委託									○	6月26日 洞の史跡巡り 66名参加
展示	4 長良川おんぼく2016企画										○	9月25日 梨の食比べ&鶴岡山ふもと巡り
	1 会館まつり出展 「黒野城主加藤貞泰の関ヶ原合戦」		○									会場 黒野会館(2日間)
環境	「小川市跡とカ女の力競べ」設置								○			古市場熊野神社前に設置
	1 享禄案内板 「大洲史談会寄贈石碑」に案内板設置								○			黒野城跡内に設置
	2 欄め手側土塁跡竹藪伐採作業							○				県道大野線今川地区区内に設置
その他	3 美化活動						○	○	○	○	○	黒野城郭の遺構を蘇らせる活動
	1 武将隊活動(イベント出場・陣羽織など制作)								○			案内前に清掃活動 黒野探訪・洞地区草刈り
	2 会報「蘇る黒野城」編集・発行		○						○			3月イルミネーション、4月CCN・TV取材、鐘教室
	3 ホームページの編集・維持管理											11月第2号発行、7月第3号発行(A3両面印刷)
	4 黒野城パンフ・リーフレットの継続配布											行事の案内・活動・発行資料の都度
	6 その他広報活動											

会報 『甦る! 黒野城』 Vol. 3

発行者 : 黒野城と加藤貞泰公研究会
 発行年月 : 平成28年7月(2016)
 編集者 : 篠田哲郎・河川耕三・戸川文男
 問合せ・連絡先 : ホームページ facebook.com/kuronojyo

TEL 090-1786-6564 河川耕三